

金沢シーサイドライン

自動運転再開後の状況について【報告】

1 自動運転再開後の経過について

月 日		内 容
8 月 31 日	土	自動運転再開（保安要員添乗。事故前の列車運行本数の 65%）
9 月 6 日	金	無人自動運転再開（端末駅ホーム上監視。同上 98%）
9 月 17 日	火	磯子区連合町内会長会にて自動運転再開の経緯を説明
9 月 20 日	金	金沢区町内会連合会にて自動運転再開の経緯を説明
10 月 5 日	土	端末駅ホーム上監視を終了し、通常の司令所監視に移行
12 月 2 日	月	増備車両の投入により、事故発生前のダイヤに回復

2 車両製造請負者との交渉について

株式会社横浜シーサイドラインは、事故車両の製造を請け負った株式会社総合車両製作所に対し、損害賠償請求権行使の意思表示を行いました。

引き続き、損害額の確定作業を進めるとともに、今後、具体的な交渉に向けて話し合いを進めていきます。

3 金沢シーサイドライン延伸事業について

金沢シーサイドライン金沢八景駅の複線化を今年度中に実施する予定で事業に取り組んでいましたが、事故の影響により、株式会社横浜シーサイドラインが整備する電気、信号などの工事工程に遅れが生じており、今年度中の複線化は困難な状況です。

今後、株式会社横浜シーサイドラインとともに、運行の許認可権者である国土交通省や神奈川県と具体的な手続きについて協議を進めた上で、できるだけ早期に複線化の時期を明確にしていきます。